

第 78 回国民スポーツ大会（SAGA2024）

結果・課題・今後の取組

SAGA 2024

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。



島根県競技力向上対策本部

1. 成績・結果

(1) 総合成績

●天皇杯（男女総合成績） 第41位 740点 （前回大会：46位 630.5点）

●皇后杯（女子総合成績） 第40位 470点 （前回大会：46位 387.5点）

◇天皇杯成績（抜粋）

天皇杯（男女総合成績）					
順位	都道府県名	得点	前大会(2023)		比較
			順位	得点	
1位	東京都	2472点	1位	2474.5点	± 0位 (△2.5点)
2位	佐賀県	2332点	10位	1412点	↑ 8位 (+920点)
	⋮				
15位	岡山県	1148点	20位	1060点	↑ 5位 (+88点)
19位	広島県	1059点	23位	995.5点	↑ 4位 (+63.5点)
28位	山口県	901.5点	25位	960点	↓ 3位 (△58.5点)
33位	鳥取県	838点	45位	655.5点	↑ 12位 (+182.5点)
	⋮				
40位	長崎県	767.5点	39位	752点	↓ 1位 (+15.5点)
41位	島根県	740点	46位	630.5点	↑ 5位 (+109.5点)
42位	沖縄県	724点	38位	757点	↓ 4位 (△33点)
43位	岩手県	704点	33位	808点	↓ 10位 (△104点)
44位	富山県	685点	37位	773.5点	↓ 7位 (△88.5点)
45位	秋田県	684点	41位	745.5点	↓ 4位 (△61.5点)
46位	徳島県	663点	47位	616点	↑ 1位 (+47点)
47位	和歌山県	656点	32位	818点	↓ 15位 (△162点)

◇皇后杯成績（抜粋）

皇后杯（女子総合成績）					
順位	都道府県名	得点	前大会(2023)		比較
			順位	得点	
1位	東京都	1287点	1位	1420.5点	± 0位 (△133.5点)
2位	佐賀県	1204点	13位	708.5点	↑ 11位 (+495.5点)
	⋮				
14位	広島県	697点	26位	573点	↑ 12位 (+124点)
16位	岡山県	679.5点	17位	656.5点	↑ 1位 (+23点)
20位	山口県	614.5点	29位	531.5点	↑ 8位 (+83点)
36位	鳥取県	485点	43位	435.5点	↑ 8位 (+49.5点)
	⋮				
39位	富山県	471.5点	25位	576点	↓ 14位 (△104.5点)
40位	島根県	470点	46位	387.5点	↑ 6位 (+82.5点)
41位	徳島県	458点	45位	397点	↑ 4位 (+61点)
42位	秋田県	450点	41位	447.5点	↓ 1位 (△2.5点)
43位	福島県	432.5点	44位	430.25点	↑ 1位 (+2.25点)
44位	和歌山県	428.5点	32位	521点	↓ 12位 (△92.5点)
45位	高知県	422.5点	47位	368点	↑ 2位 (+54.5点)
46位	奈良県	413点	38位	474.5点	↓ 7位 (△61.5点)
47位	長崎県	397.5点	34位	510.5点	↓ 13位 (△113点)

(2) 入賞競技数・種目数

● **1 2 競技 3 6 種目 (競技得点 350 点)** (前回大会：15 競技 27 種目 (競技得点 230.5 点))

◇入賞競技種目一覧

競技名	種別	種目	選手名	所属名 (○印は学年)	順位	競技得点	
						団体	個人
陸上競技	成年女子	800m	渡部 鈴夏	鹿屋体育大学③	7 位		2 点
	少年女子 A	800m	佐々木 葉音	平田高校②	2 位		7 点
		100m H	別所 みゆ	大社高校③	5 位		4 点
		300m H			8 位		1 点
	少年女子共通	走高跳	江角 菜子	大社高校③	2 位		7 点
テニス	成年男子		岩本 晋之介 角 陽太	関西大学③ 岡山大学②	5 位	12 点	
ホッケー	成年男子		島根選抜		4 位	40 点	
	少年女子		横田高校		2 位	56 点	
レスリング	成年男子	フリースタイル 57kg 級	澤谷 孟	国土館大学	3 位		5.5 点
		フリースタイル 74kg 級	中村 勇士	隠岐島前高校教	3 位		5.5 点
		グレコローマンスタイル 87kg 級	青山 夢斗	自衛隊体育学校	5 位		2.5 点
	少年男子	グレコローマンスタイル 65kg 級	長谷川 翔	隠岐島前高校③	5 位		2.5 点
	女子	女子レスリング 53kg 級	坂根 海琉子	日本大学①	3 位		5.5 点
自転車	成年女子	スクラッチ・レース	藤井 美紀	島根大学大学院②	6 位		3 点
	男子 B	スクラッチ・レース	周藤 稜希	出雲工業高校③	7 位		2 点
卓球	少年男子		出雲北陵高校		5 位	7.5 点	
	少年女子		明誠高校		5 位	7.5 点	
柔道	少年男子		開星高校		5 位	12.5 点	
バドミントン	成年女子		山陰合同銀行		5 位	7.5 点	
ラグビーフットボール	少年男子		島根選抜		3 位	44 点	
カヌー	成年女子	スプリント・カナディアンシングル 500m	植出 乙倭	島根中央高校②	7 位		2 点
		スプリント・カナディアンシングル 200m			8 位		1 点
	少年男子	スプリント・カナディアンシングル 500m	石原 里海	出雲農林高校③	4 位		5 点
		スプリント・カナディアンシングル 200m			5 位		4 点
		スプリント・カナディアンペア 500m	飛田 統羽	出雲農林高校③	1 位		8 点
		スプリント・カナディアンペア 200m	立花 賢太郎	出雲農林高校③	1 位		8 点
		スプリント・ギャップペア 500m	河野 賢晃	島根中央高校③	4 位		5 点
		スプリント・ギャップペア 200m	河野 文晃		1 位		8 点
		スプリント・ギャップフォア 500m	島根中央高校		1 位	24 点	
		スプリント・ギャップフォア 200m			1 位	24 点	
	少年女子	スプリント・ギャップシングル 500m	藤倉 萌	島根中央高校③	6 位		3 点
		スプリント・ギャップシングル 200m			7 位		2 点
		スプリント・ギャップペア 500m	多々納 真桜	出雲農林高校③	5 位		4 点
		スプリント・ギャップペア 200m	松尾 夏帆子	出雲農林高校②	6 位		3 点
空手道	成年女子	形	三島 きり	アサヒフオージ(株)	5 位		2.5 点
なぎなた	成年女子	試合競技	島根選抜		5 位	12 点	

※自転車競技男子 B は、選手が高校生のため種別は少年男子とする。

※カヌー成年女子スプリント C-1 は、選手が高校生のため種別は少年女子とする。

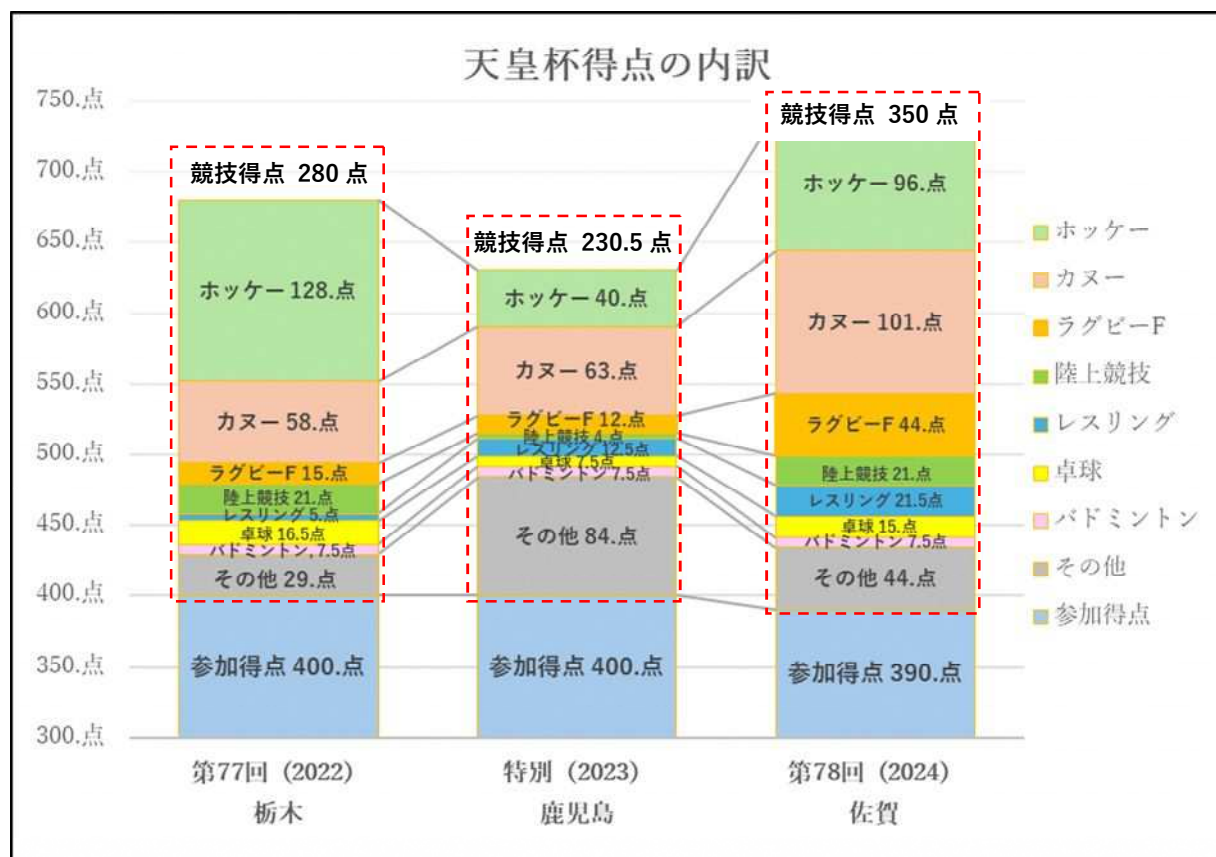
2. 現状と分析

(1) 天皇杯順位・得点の推移



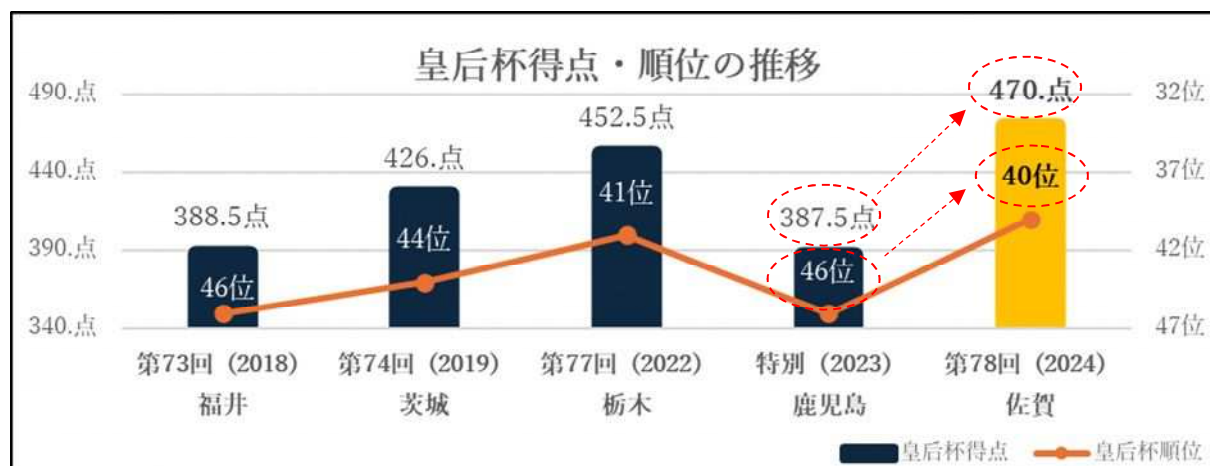
- ・第78回大会は前回大会から順位を5つ上げ、競技得点は109.5点増えた。
- ・第68回東京大会(2013)からの過去10大会で競技得点が700点を超えた大会は3大会のみである。(第72回愛媛国体(2017)…806点(38位)、第74回茨城国体(2019)…725点(40位)、第78回佐賀国スポ…740点(41位))
- ・競技力向上対策本部が立ち上がった令和3年(2021)以降では最上位の成績となる。

◇天皇杯得点の構成



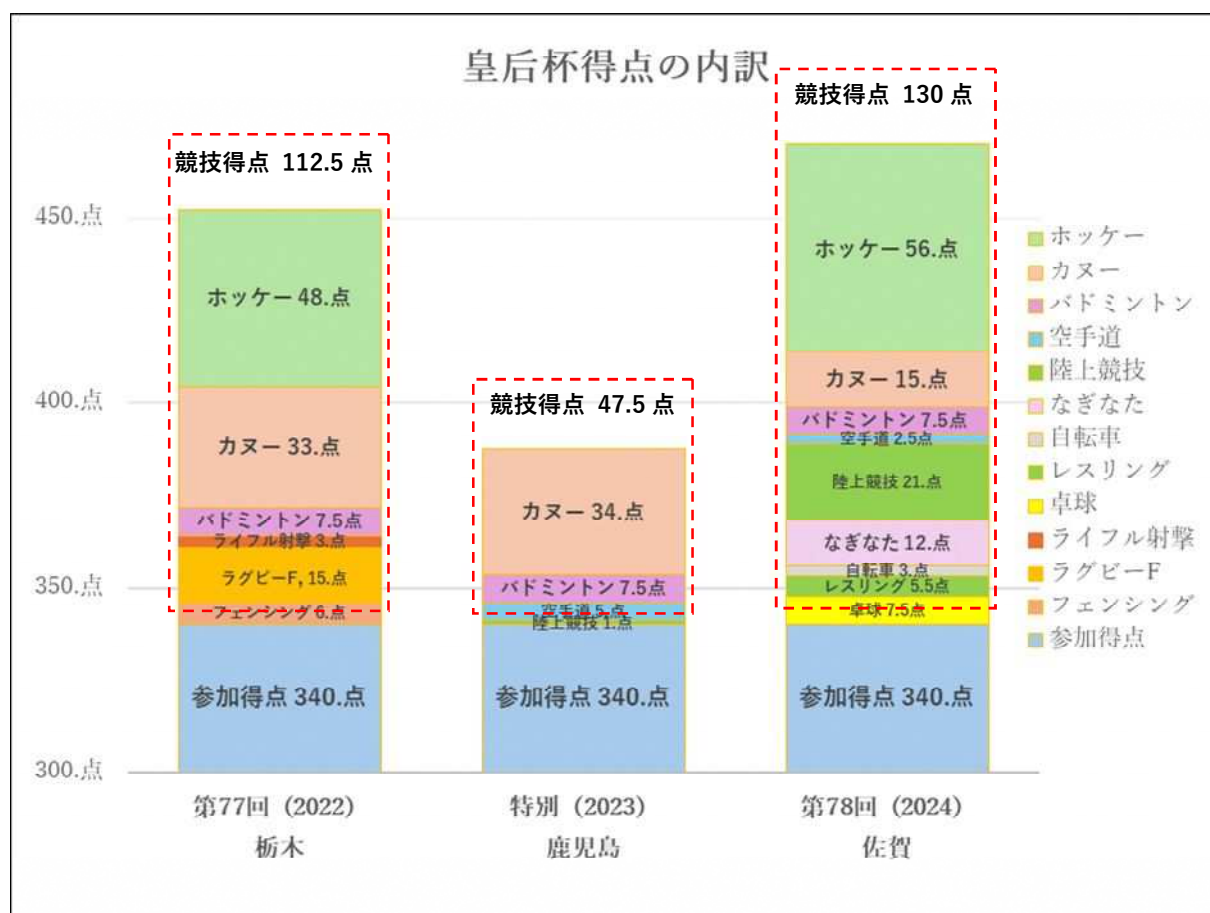
- ・天皇杯得点は、参加得点(上限400点)と各競技が獲得した競技得点の合計点で構成される。
- ・7競技(ホッケー～バドミントン)が直近の3大会連続で入賞している。

(2) 皇后杯順位・得点の推移



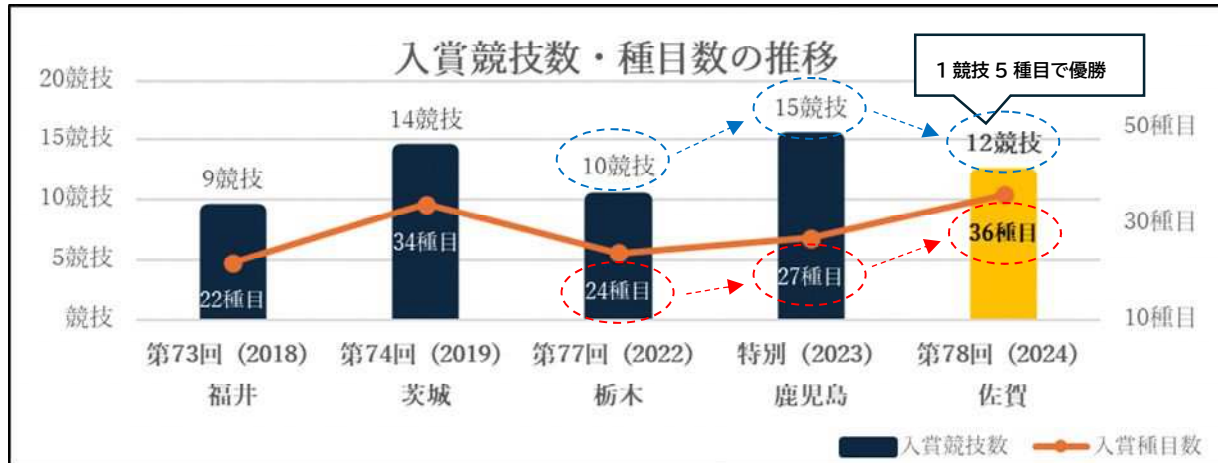
- ・第78回大会は前回大会から順位を6つ上げ、競技得点は82.5点増えた。
- ・ここ10大会では、第72回愛媛国体(2017)の488点(35位)の次に競技得点を獲得した。女子選手が活躍した。

◇皇后杯得点の構成



- ・皇后杯得点は、女子競技の参加得点と各競技が獲得した競技得点の合計点で構成される。
- ・入賞競技数は、第77回大会の6競技、特別大会の4競技から、第78回大会では9競技に増えた。
- ・直近3大会連続で入賞している競技はカヌーとバドミントンのみである。

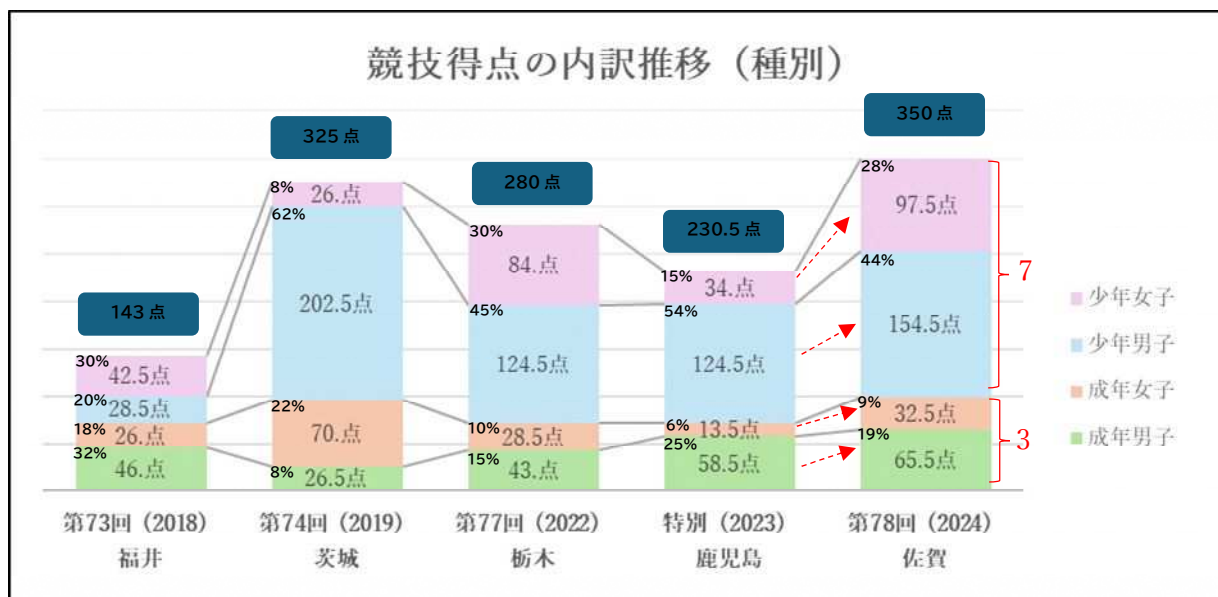
(3) 入賞競技数・種目数の推移



- ・第78回大会は前回大会より入賞競技数が3競技減ったが、入賞種目数は9種目増えた。
- ・直近3大会では入賞種目数は増加傾向であるが、入賞競技数は伸び悩んでいる。

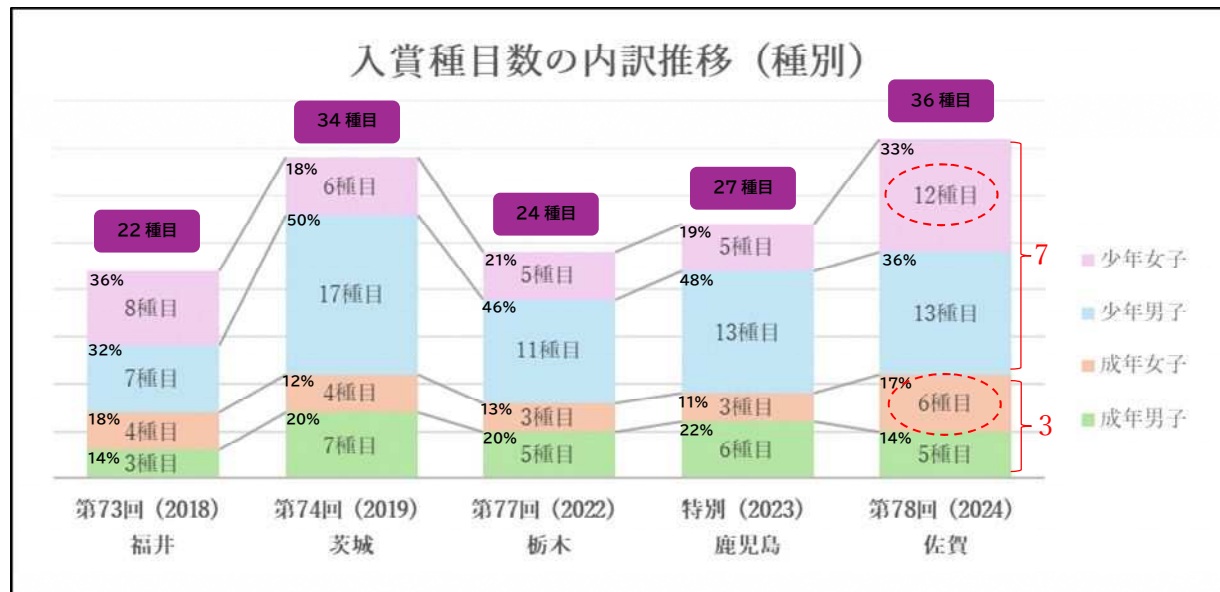
(4) 種別ごとの競技得点及び入賞種目数の内訳

① 競技得点の推移



- ・全ての種別において前回よりも競技得点が増えた。
- ・種別ごとの競技得点の割合は、「成年3：少年7」「男子6：女子4」であった。少年種別が競技得点の多くを占めている本県の特徴は今大会も同じであった。
- ・少年種別では、「ホッケー(少女)」「ラグビー(少男)」「柔道(少男)」「卓球(少男女)」「カヌー(少男女)」「レスリング(少男)」「自転車(男B)」の選手が活躍した。
- ・今大会は女子の活躍があったが、依然として女子の得点は男子に比べて低い状況である。

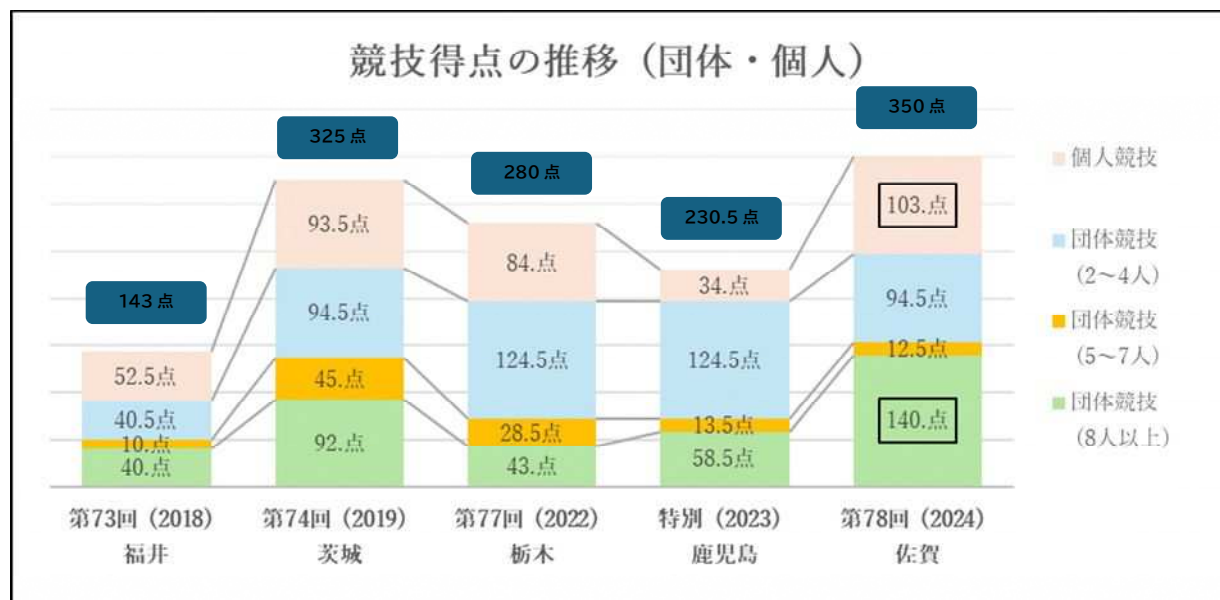
② 入賞種目数の推移



- ・種別ごとの入賞種目数の割合も競技得点の割合と概ね同様の「成年3：少年7」であった。
- ・男女の割合は、女子の入賞者が多かったため「男子5：女子5」の割合となった。
- ・女子選手では、少年女子の「ホッケー」「卓球」「カヌー」「陸上競技」、成年女子の「なぎなた」「バドミントン」「自転車」「レスリング」「空手道」「陸上競技」の選手が活躍した。

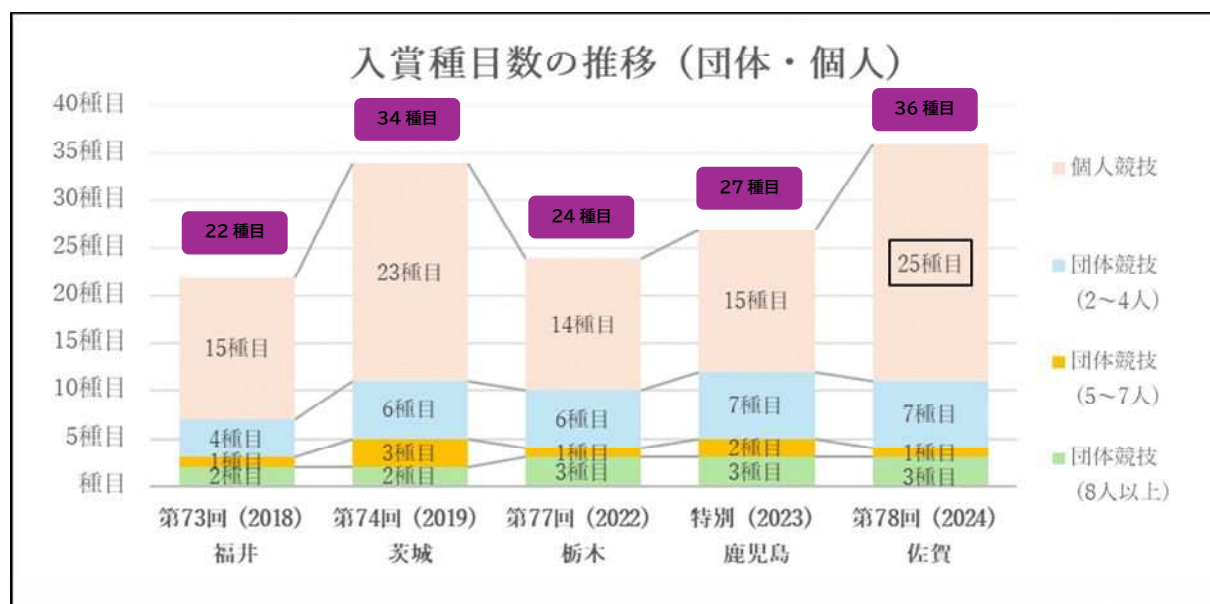
（５）団体・個人ごとの競技得点及び入賞種目数の内訳

① 競技得点の推移



- ・第78回大会は、「個人競技」と「団体競技(8人以上)」の競技得点が大きく増えた。
- ・個人競技では「カヌー」「陸上競技」「レスリング」「自転車」において複数人が入賞した。
- ・団体競技(8人以上)では「ホッケー(成男・少女)」「ラグビー(少男)」が上位成績を収めた。3種別で140点を獲得し総合成績に大きく貢献した。

② 入賞種目数の推移



- ・第78回大会は「個人競技」の入賞種目数が増加し25種目で103点を獲得した。
- ・団体競技(2～4人)の入賞種目数は少しずつ増えてきている。卓球やバドミントンの活躍がみられる。
- ・団体競技数の入賞種目数の総数には大きな変化はない。団体競技(5～7人)の入賞種目が少ないことや、団体競技(8人以上)の入賞競技はサッカーとラグビーに偏っていることによる。
- ・近年5大会で団体競技(5～7人)で入賞実績があるのは、バスケットボール、柔道、剣道、ラグビー(女子)の4競技のみである。

【参考：競技得点の内訳】

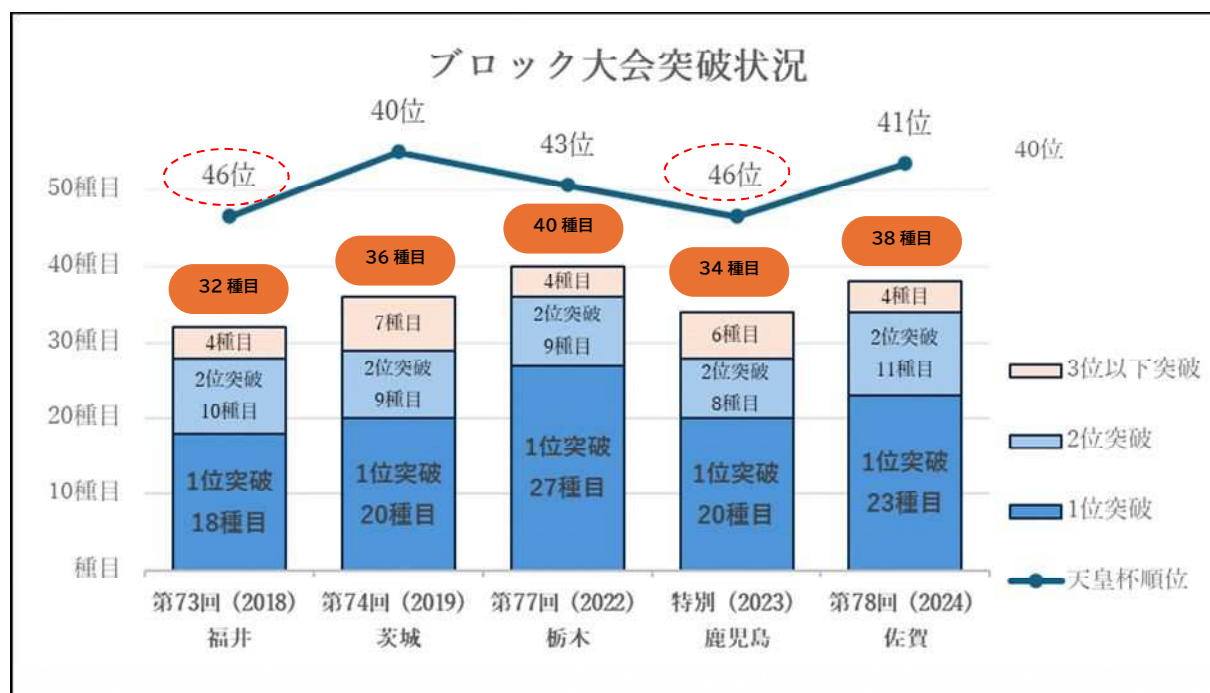
個人競技	陸上、水泳(競泳・飛込)、ローイング(1×)、体操(トランポリン)、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車(個人種目)、ライフル射撃、カヌー、空手道(個人戦)、ボクシング、ボウリング(個人戦)、トライアスロン
団体競技 (2～4人)	水泳(AS)、テニス、ローイング(2×)、バレーボール(ビーチバレー)、セーリング(スピッツ級・420級)、自転車(団体種目)、卓球、相撲(成男)、フェンシング、柔道(女子)、バドミントン、弓道、スポーツクライミング、カヌー(フォア)、アーチェリー、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング(団体戦)、ゴルフ
団体競技 (5～7人)	水泳(水球)、ローイング(4×+)、バレーボール(6人制)、体操(競技・新体操)、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、相撲(少男)、柔道(成男・少男)、剣道、ラグビーフットボール(7人制)、空手道(団体戦)
団体競技 (8人以上)	サッカー、サッカー、サッカー、ソフトボール、ラグビーフットボール

(6) 入賞まであと一歩であった競技種目（個人9位、団体ベスト16）

競技名	種別	種目	チーム名・選手名	成績	区分
陸上競技	成年女子	ハンマー投	佐野 陽菜	9位	県単
	少年女子共通	三段跳	福岡 璃子	9位	県単
水泳競技(競泳)	少年男子A	200m 背泳ぎ	浅津 晴道	9位	県単
サッカー	成年女子		ディオッサ出雲	ベスト16	ブロック突破
バレーボール	成年男子	6人制	島根選抜	ベスト16	ブロック突破

レスリング	成年男子	グレコローマンレスリング 67 kg級	二俣 友明	ベスト 16	県単
	成年男子	グレコローマンレスリング 92 kg級	佐藤 聡太	ベスト 16	県単
	少年男子	グレコローマンレスリング 55 kg級	渡部 清文	ベスト 16	県単
	少年男子	フリースタイルレスリング 51 kg級	實重 幸助	ベスト 16	県単
	少年男子	フリースタイルレスリング 60 kg級	黒田 亜武瑠	ベスト 16	県単
自転車	成年男子	ロードレース	石原 悠太	14位 ※終盤まで トップ集団	県単
ソフトテニス	成年男子		島根選抜	ベスト 16	県単
	少年男子		島根選抜	ベスト 16	ブロック突破
馬術	成年男子	団体総合馬術	石田 侑寄	馬場馬術 8位 障害飛越失権	ブロック枠獲得
	成年女子	トップスコア競技	根岸 柚子	9位	ブロック枠獲得
	少年	団体障害飛越競技	梶谷 友里奈 武田 明日華	9位	ブロック枠獲得
柔道	成年男子		島根選抜	ベスト 16	ブロック突破
クレール射撃	成年	トラップ	井上 清	※第2ラウンド 終了時 2位	県単
なぎなた	少年女子	試合競技	出雲北陵高校	ベスト 16	ブロック突破
ゴルフ	成年男子	団体戦（3人チーム）	島根選抜	16位 ※1日目 13位	県単
トライアスロン	成年女子		山田 梓	13位/87人	県単

（7）中国ブロック大会突破状況



- ・本大会への出場はブロック大会を突破する必要があるが、県単出場競技種目が正式競技の4分の1あるため、ブロック大会の突破数と天皇杯順位は必ずしも一致しない。
- ・しかし、ブロック大会での突破数が少ない大会や、1位突破が少ない大会では天皇杯順位は下位にある傾向であるため、ブロック大会1位突破種目数を増やし本大会で戦える力をつける必要がある。

【参考資料①】第78回国民スポーツ大会（SAGA2040）目標点と獲得得点の比較

		年度当初、計画(目標)していた競技得点			年度計画(目標)と乖離の大きい競技。競技得点を獲得できなかった競技				
No.	競 技 名	競技団体目標 ※R6年度当初計画		獲得競技得点					
		計①	内訳	計②	内訳	順位	種別	特記事項(成績等)	
1	スケート	0		0					
2	アイスホッケー	0		0				ブロック大会敗退 ※成年男子不参加	
3	スキー	0		0				※本大会 ➡ (アルペン)成年男子A 17位、少年女子17位	
4	陸上競技	20	5 成年男子	21	2	7位	成年女子(800m)		
			5 成年女子		7	2位	少年女子A(800m)		
			5 少年男子		4	5位	少年女子A(100mH)		
			5 少年女子		1	8位	少年女子A(300mH)		
					7	2位	少年女子共通(走高跳)		
5	水泳(競泳)	4	2 成年	0		×	成年	本大会 ➡ 予選敗退	
			2 少年			×	少年	本大会 ➡ 予選敗退	
	水泳(飛込)	1	1 少年男子	0		×	少年男子	本大会 ➡ 14位(飛板)・13位(高飛込)	
	水泳(水球)	0		0				ブロック大会敗退 ※女子不参加	
	水泳(AS)	0		0					
	水泳(OWS)	0		0					
6	サッカー	0		0				※成年女子は初のブロック大会突破	
7	テニス	6	3 少年男子	12	0			本大会 ➡ 1回戦敗退	
			3 少年女子		0			本大会 ➡ 2回戦敗退	
					12	5位	成年男子	※初入賞	
			0		×	成年女子	ブロック大会敗退		
8	ローイング	0		0					
9	ホッケー	120	40 成年男子	96	40	4位	成年男子		
			40 少年男子		0	×	少年男子	ブロック大会敗退	
			40 少年女子		56	2位	少年女子		
10	バレーボール (6人制)	30	7.5 成年男子	0	0	×	成年男子	ブロック大会突破 ➡ 本大会1回戦敗退	
			7.5 成年女子		0	×	成年女子	ブロック大会敗退	
			7.5 少年男子		0	×	少年男子	ブロック大会敗退	
			7.5 少年女子		0	×	少年女子	ブロック大会敗退	
	バレーボール (ビーチバレー)	9	4.5 少年男子	0		×	少年男子	ブロック大会敗退	
			4.5 少年女子			×	少年女子		
11	体操(競技)	0		0					
	体操(新体操)	0		0				ブロック大会敗退 ※少年男子不参加	
	体操(トランポリン)	0		0				ブロック大会敗退	
12	バスケットボール	0		0				ブロック大会敗退(全種別)	
13	レスリング	29	16 成年男子	21.5	5.5	3位	成年男子(F・57kg級)		
			女子		5.5	3位	成年男子(F・74kg級)		
			13 少年男子		2.5	5位	成年男子(G・87kg級)		
					5.5	3位	女子(53kg級)		
					2.5	5位	少年男子(G・65kg級)		
14	セーリング	0		0				不参加	
15	ウエイトリフティング	1	1 少年男子	0		×	少年男子	1名(棄権)、1名(スナッチ14位、C&J16位、トータル14位)	
16	ハンドボール	0		0				ブロック大会敗退(全種別)	
17	自転車競技	0		5	3	6位	成年女子(スクラッチ・レース)	※12年ぶりの入賞	
					2	7位	少年男子(スクラッチ・レース)		
18	ソフトテニス	25	25 少年男子	0		×	少年男子	ブロック大会突破 ➡ 本大会ベスト16	
19	卓球	15	7.5 少年男子	15	7.5	5位	少年男子		
			7.5 少年女子		7.5	5位	少年女子		
20	軟式野球	8	8 成年男子	0		×	成年男子	ブロック大会突破 ➡ 本大会1回戦敗退	
21	相撲	0		0					
22	馬術	0		0				※4種目でブロック大会突破	
23	フェンシング	15	6 成年男子	0		×	成年男子	本大会 ➡ フルレー1回戦敗退、エペ1回戦敗退	
			3 成年女子			×	成年女子	ブロック大会敗退	
			3 少年男子			×	少年男子	ブロック大会突破 ➡ 本大会2回戦敗退	
			3 少年女子			×	少年女子	ブロック大会敗退	

No.	競 技 名	競技団体目標 ※R6年度当初計画			獲得競技得点				
		計①	内訳		計②	内訳	順位	種別	特記事項(成績等)
24	柔道	0			12.5	12.5	5位	少年男子	
25	ソフトボール	0			0				ブロック大会敗退(全種別)
26	バドミントン	7.5	7.5	成年女子	7.5	7.5	5位	成年女子	
27	弓道	24	6	成年男子	0		×	成年男子	ブロック大会敗退
			6	成年女子			×	成年女子	ブロック大会突破 ➡ 本大会(遠的)21位、(近的)22位
			6	少年男子			×	少年男子	ブロック大会敗退
			6	少年女子			×	少年女子	ブロック大会敗退
28	ライフル射撃	4	1	成年男子	0		×	成年男子	ブロック大会突破 ➡ 本大会敗退
			1	成年女子			×	成年女子	
			1	少年男子			×	少年男子	
			1	少年女子			×	少年女子	
29	剣道	45	12.5	成年男子	0		×	成年男子	本大会 ➡ 1回戦敗退
			7.5	成年女子			×	成年女子	ブロック大会敗退
			12.5	少年男子			×	少年男子	ブロック大会敗退
			12.5	少年女子			×	少年女子	ブロック大会敗退
30	ラグビーフットボール	42	30	女子	44		×	女子	ブロック大会敗退
			12	少年男子		44	3位	少年男子	
31	スポーツクライミング	0			0				
32	カヌー	26	4	成年男子	101		2	7位	成年女子C-1(500m)
			4	成年女子			1	8位	成年女子C-1(200m)
			14	少年男子			5	4位	少年男子C-1(500m)
			4	少年女子			4	5位	少年男子C-1(500m)
							8	1位	少年男子C-2(500m)
							8	1位	少年男子C-2(200m)
							5	4位	少年男子K-2(500m)
							8	1位	少年男子K-2(200m)
							24	1位	少年男子K-4(500m)
							24	1位	少年男子K-4(200m)
							3	6位	少年女子K-1(500m)
							2	7位	少年女子K-1(200m)
							4	5位	少年女子K-2(500m)
							3	6位	少年女子K-2(200m)
33	アーチェリー	0			0				ブロック大会敗退(全種別)
34	空手道	32	22.5	成年男子	2.5		×	成年男子	
			7	成年女子		2.5	5位	成年女子(形)	
			2.5	少年男子			×	少年男子	
35	銃剣道	0			0				
36	クレー射撃	0			0				
37	なぎなた	12	6	成年女子	12	12	5位	成年女子	
			6	少年女子			×	少年女子	ブロック大会突破 ➡ 本大会ベスト16
38	ボウリング	0			0				ブロック大会敗退(全種別)
39	ゴルフ	0			0				ブロック大会突破(少年男子) ➡ 本大会27位
40	トライアスロン	0			0				
合計	競技得点	475.5			350.0			(△125.5点)	
	参加得点	400.0			390.0			(△10点)	
	総合	875.5			740.0			(△135.5点)	

- ・ 天皇杯得点は740点で、当初の目標点875.5点よりも135.5点足りなかった。
- ・ 目標点と実際の獲得得点の差異が大きい競技団体については、当該年度の競技力分析を徹底し、それを踏まえた強化を進めていく必要がある。

【参考資料②】過去 8 大会の入賞・ブロック突破状況

季 別	競技名	回	第70回 (2015)	第71回 (2016)	第72回 (2017)	第73回 (2018)	第74回 (2019)	第75回・76回 (2020・2021)	第77回 (2022)	特別 (2023)	第78回 (2024)
		開催地	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島・三重	栃木	鹿児島	佐賀
		得点	648.5点	632.点	806.点	533点	725.点		680.点	630.5点	740.点
		順位	44位	45位	38位	46位	40位		43位	46位	41位
		順位(冬季)	35位	36位	34位	33位	33位		34位	33位	32位
		順位(本大会)	42位	45位	32位	46位	39位		43位	43位	39位
冬 季	スキー										
	スケート										
	アイスホッケー										
冬季大会 計			0	0	0	0	0		0	0	0
本 大 会	陸上競技		34	20	18	8	14		21	4	21
	水泳	競泳		7							
		飛込	13	10	20		8			1	
		水球									
		AS							ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破
		OWS		5							
	サッカー			ブロック突破		20			ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破
	テニス			6	15	ブロック突破	ブロック突破		ブロック突破	ブロック突破	12
	ローイング		21	ブロック突破	9	16	9		ブロック突破	21	ブロック突破
	ホッケー		108	20	160	20	48		128	40	96
	ボクシング										開催なし
	バレーボール	6人制									ブロック突破
		ビーチバレー					31.5			4.5	
	体操				ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破		ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破
	バスケットボール						12.5			ブロック突破	
	レスリング			5	5	23.5	8		5	12.5	21.5
	セーリング								2		不参加
	ウエイトリフティング		11	4	1	ブロック枠獲得	9		ブロック枠獲得	ブロック枠獲得	ブロック枠獲得
	ハンドボール										
	自転車										5
	ソフトテニス			25	35	ブロック突破	ブロック突破	中止			ブロック突破
	卓球		ブロック突破	ブロック突破		ブロック突破	ブロック突破		16.5	7.5	15
	軟式野球		ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破		ブロック突破		ブロック突破		ブロック突破
	相撲										
	馬術					不参加					ブロック枠獲得
	フェンシング		9			ブロック突破			18	ブロック突破	ブロック突破
	柔道					ブロック突破				35	12.5
	ソフトボール										
	バドミントン		ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破				7.5	7.5	7.5
	弓道		ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破	13.5	ブロック突破		ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破
	ライフル射撃		2	ブロック突破	9	ブロック突破	15		9	2	ブロック突破
	剣道					ブロック突破	12.5		ブロック突破	12.5	
	ラグビーフットボール		28	25	79		64		15	12	44
	スポーツクライミング										
	カヌー		20	72	37	15	49		58	63	101
	アーチェリー										
	空手道		2.5	ブロック突破	ブロック突破	ブロック突破	2.5		ブロック突破	5	2.5
	銃剣道		ブロック突破	開催なし		開催なし	開催なし		ブロック突破	3	
	クレール射撃					6	ブロック突破		開催なし	開催なし	
	なぎなた		ブロック突破	33	18	21	42		ブロック突破		12
	ボウリング		ブロック突破			ブロック突破					
	ゴルフ										ブロック突破
	トライアスロン		開催なし		開催なし						
	本大会 計		248.5	232	406	143	325		280	230.5	350
	競技得点 (冬季大会 + 本大会)		248.5	232	406	143	325		280	230.5	350
	参加得点		400	400	400	390	400		400	400	390
	得点合計		648.5	632	806	533	725		680	630.5	740
	入賞競技数・種目数		10競技	10競技	13競技	9競技	14競技		10競技	15競技	12競技
			26種目	25種目	31種目	22種目	34種目		24種目	27種目	36種目

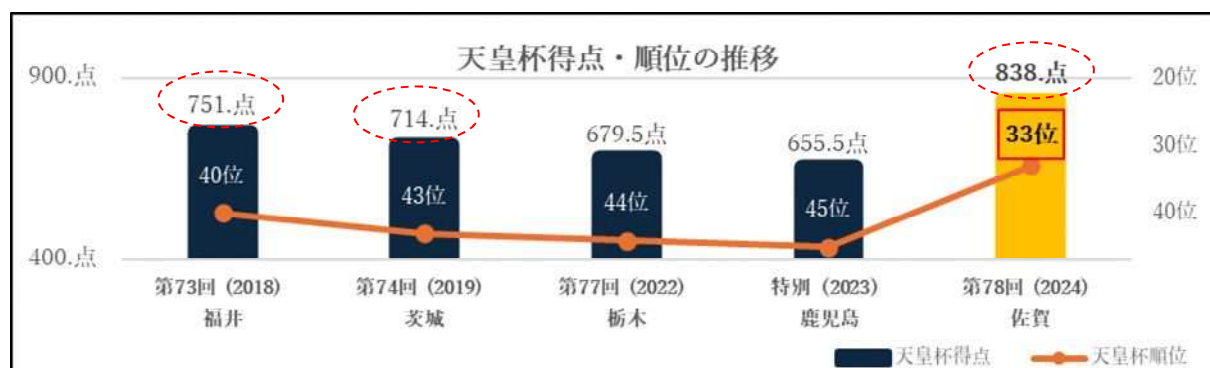
・過去 3 大会で入賞がない競技が 21 競技ある。

・過去 3 大会でブロック突破がない競技が 8 競技ある。

(県単のみのスキー、相撲、クレール射撃、トライアスロンは除く)

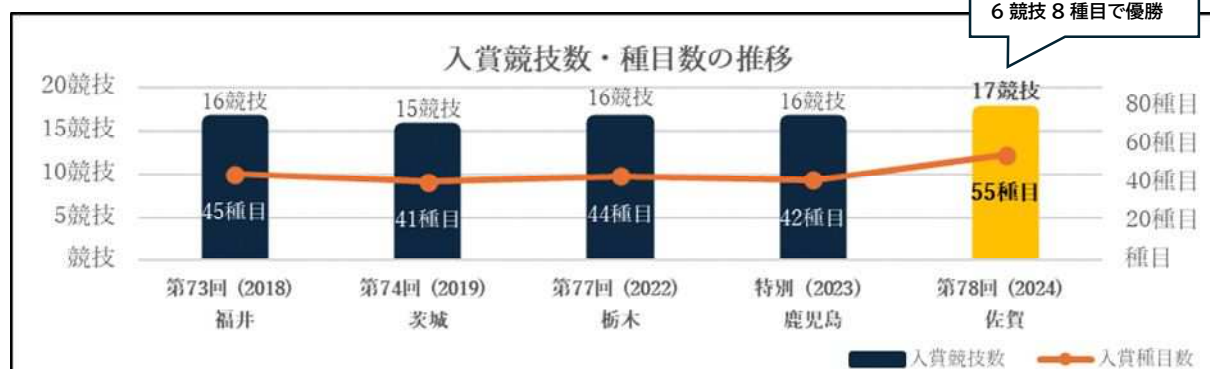
3. 鳥取県の成績

(1) 天皇杯・皇后杯の順位、得点



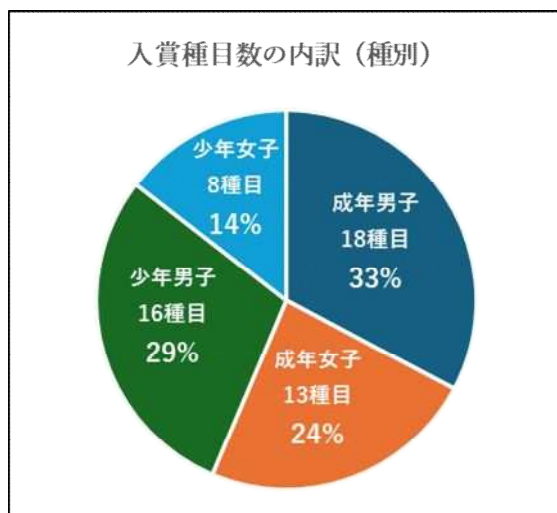
- ・鳥取県は第69回長崎国体から9年ぶりに30位台となった。
- ・過去10大会のうち7大会で天皇杯得点700点をを超えており、常時700～800点を獲得する力をもっている。

(2) 入賞競技数・種目数



- ・入賞競技種目数も安定して15～17競技、40～50種目の成績を残しており、本県より常に5競技15種目程度多い。
- ・第78回大会では、飛込(成女)、ローイング(成男)、セーリング(成男)でオリンピック参加選手が出場し、ホッケー(少男)(八頭高校)、相撲(少男)(鳥取城北高校)など、合わせて6競技8種目で優勝した。

(3) 入賞種目の種別割合 及び 個人・団体割合 (佐賀国スポ)



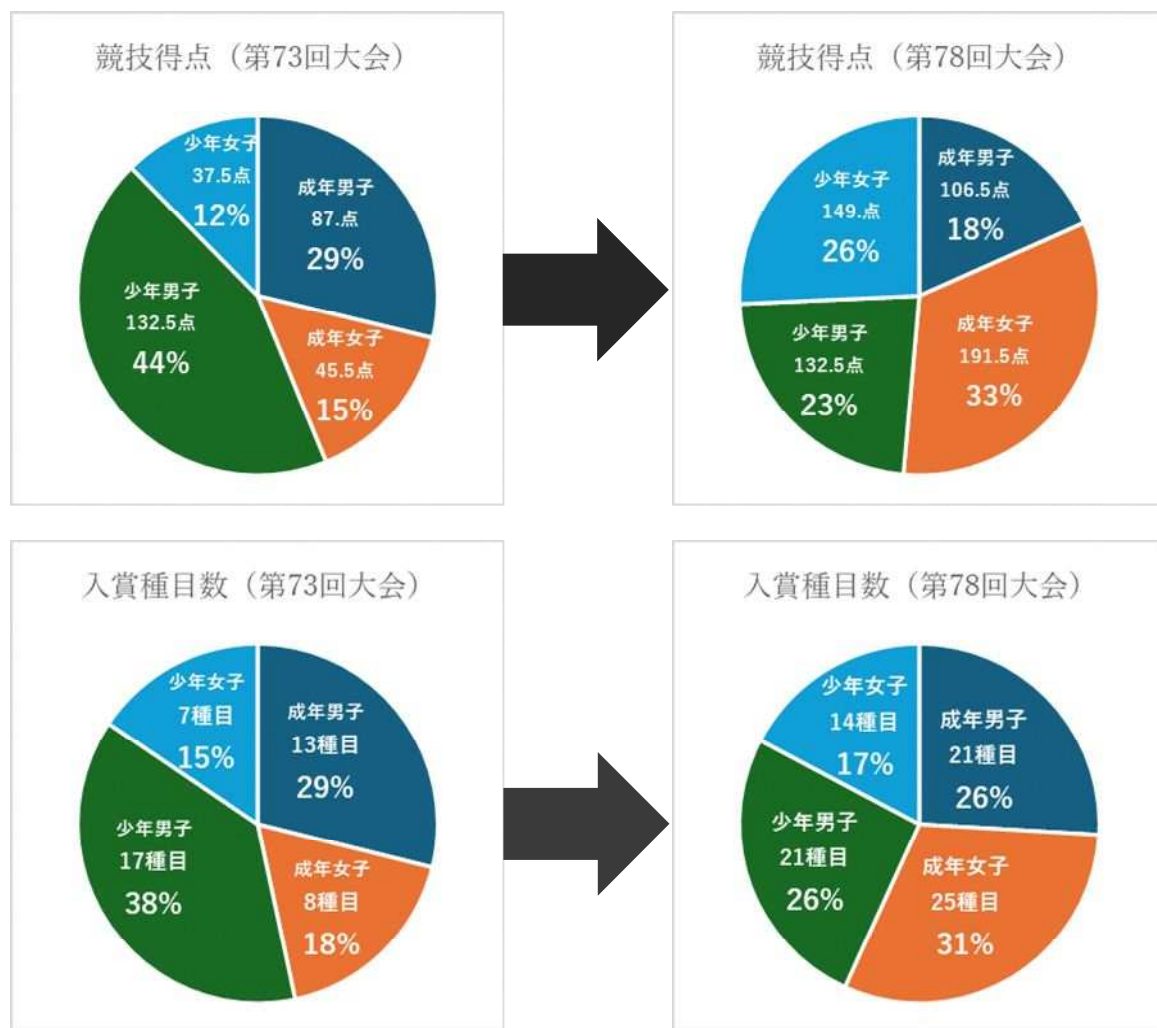
- ・入賞種別割合は「成年6：少年4」で成年選手に力がある。
- ・特に「個人競技」「団体競技(2~4人)」での入賞が多い。5人以上の団体での入賞は少ない。

4. 青森県の成績

(1) 過去5大会の競技得点一覧表

季別	競技名	回	第73回	第74回	第77回	特別	第78回
		開催地	福井	茨城	栃木	鹿児島	佐賀
		得点	692.5	694	727	751.5	979.5
		順位	42位	45位	42位	40位	23位
		順位(冬季)	5位	4位	18位	3位	5位
		順位(本大会)	45位	47位	46位	46位	31位
冬季	スキー		29	34	33	19	44.5
	スケート		32	41	10	73	58
	アイスホッケー		65	60	25	55	45
	冬季大会 計		126	135	68	147	147.5
本大会	陸上競技		23	19	12	16	23
	水泳		8	16	10	14.5	23
	サッカー		40		56		
	テニス						
	ローイング						
	ホッケー						
	ボクシング		2.5	7	30	15.5	
	バレーボール						10.5
	体操				10		40
	バスケットボール						
	レスリング		17	20	5	15.5	31.5
	セーリング				3		
	ウエイトリフティング			1	2	6	26
	ハンドボール						
	自転車		11		6	5	38
	ソフトテニス					10	25
	卓球				7.5		24
	軟式野球						
	相撲			21			7.5
	馬術			1			
	フェンシング		12		18		
	柔道						
	ソフトボール						44
	バドミントン			48	39	42	25.5
	弓道		27		15		
	ライフル射撃		2				
	剣道			25			35
	ラグビーフットボール		7.5				
	スポーツクライミング					24	
	カヌー				7	9	35
	アーチェリー		9		6	6	9
	空手道		2.5		2.5	5	5
	銃剣道				6	6	
	クレ射撃						
	なぎなた						
	ボウリング		15	1	24	30	30
	ゴルフ						
	トライアスロン						
本大会 計			176.5	159	259	204.5	432
競技得点 (冬季大会 + 本大会)			302.5	294	327	351.5	579.5
参加得点			390	400	400	400	400
得点合計			692.5	694	727	751.5	979.5
入賞競技数・種目数			16競技45種目	13競技44種目	21競技47種目	17競技57種目	20競技81種目

(2) 入賞種別の変化



青森県	・青森県は冬季競技の競技力があり、冬季大会においては競技得点 100 点以上、順位一桁の力を持つ。 ・第 78 回大会の総合成績は前回から順位を 19 上げ、競技得点は 287 点増えた。特に本大会の成績が向上しており、競技得点は前回大会から約 230 点増の 432 点となっている。入賞競技数も、3 競技 24 種目増の 20 競技 81 種目となった。 ・4 大会前の第 73 回福井大会（2018）と比べると、陸上競技、水泳、レスリング、ウェイトリフティング、自転車、カヌーなどの個人種目での得点が多くなっている。 ・また、得点並びに入賞種目数の成年少年の割合でも、成年種別が少年を上回り、成年種別の強化が進んでいると思われる。 ・特に成年女子において、競技得点 146 点増、入賞種目 17 種目増と著しく増加している。
島根県	・冬季大会での入賞はない。 ・入賞競技は 4 大会前と変わりはなく、特定の団体競技の結果次第で成績が左右される。 ・ホッケー、ラグビーフットボール、カヌーが上位入賞の場合は第 78 回大会の結果（740 点・41 位）になり、この競技が敗退した場合には第 73 回大会の結果（533 点・46 位）となる。 ・得点割合は「成年 3：少年 7」で少年の競技力が大部分を占める。

【参考資料③】先催県と後催県の開催前の天皇杯順位の推移

回	開催年	県名	6 年前	5 年前	4 年前	3 年前	2 年前	1 年前	開催年
48	平成 5 年(1993)	香川	47 位	46 位	37 位	43 位	20 位	9 位	1 位
		徳島	42 位	45 位	38 位	41 位	33 位	24 位	2 位
50	平成 7 年(1995)	福島	44 位	45 位	41 位	31 位	20 位	4 位	1 位
57	平成 14 年(2002)	高知	45 位	38 位	46 位	45 位	38 位	31 位	10 位
66	平成 23 年(2011)	山口	41 位	41 位	39 位	35 位	28 位	16 位	1 位
70	平成 27 年(2015)	和歌山	43 位	37 位	43 位	21 位	18 位	15 位	1 位
71	平成 28 年(2016)	岩手	33 位	41 位	39 位	23 位	37 位	16 位	2 位
72	平成 29 年(2017)	愛媛	25 位	34 位	26 位	21 位	13 位	7 位	2 位
73	平成 30 年(2018)	福井	24 位	24 位	17 位	26 位	18 位	7 位	1 位
74	令和元年(2019)	茨城	29 位	31 位	32 位	22 位	23 位	16 位	1 位
77	令和 4 年(2022)	栃木	30 位	21 位	28 位	18 位			2 位
特別	令和 5 年(2023)	鹿児島	33 位	17 位	15 位			14 位	2 位
78	令和 6 年(2024)	佐賀	33 位	33 位			21 位	10 位	2 位
79	令和 7 年(2025)	滋賀	30 位			20 位	17 位	8 位	
80	令和 8 年(2026)	青森	(45 位)		42 位	40 位	23 位		
81	令和 9 年(2027)	宮崎	(41 位)	32 位	27 位	32 位			
82	令和 10 年(2028)	長野	15 位	21 位	17 位				
83	令和 11 年(2029)	群馬	26 位	27 位					
84	令和 12 年(2030)	島根	41 位	20 位台 (1000点)		10 位台 (1150点)			1 位 (2600点)

…新型コロナウイルス感染症の流行により大会が中止となった。(順位)は中止前の順位

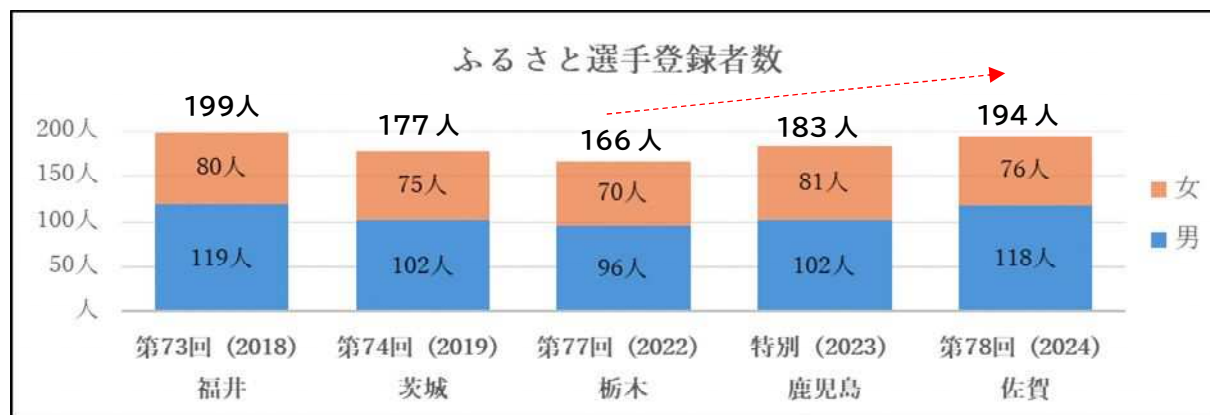
…佐賀国スポの順位

- ・これまで開催年に天皇杯を獲得できなかった県は 6 県のみ。
57 回大会の高知県は 10 位、それ以外は 2 位であった。
- ・2 巡目開催以降、開催 6 年前で 40 位台の県は 9 県あり、後催県では青森県と宮崎県、島根県である。
青森県は 2 年前に 20 位台、宮崎県は 5 年前に 30 位台に入り順位は上向きの傾向である。
- ・青森県、宮崎県ともスポーツ協会や対策本部の「任期付きスポーツ専門員」として成年選手を獲得し、順位を上げているが、本県はこうした取組の実施予定はない。総合優勝を目指すには、一層の取組強化が必要。
- ・本県では、開催 4 年前(R8 年)に 20 位台、開催前年(R11 年)に 10 位台、開催年(R12 年)に 1 位を目指している。

5. その他（ふるさと選手）

（1）ふるさと選手登録について

①ふるさと選手登録者数の推移



・ふるさと選手の登録者数は第77回栃木国体以降増加している。

②ふるさと選手の本大会への参加状況及び本大会での活躍状況



- ・登録者のうち中国ブロック大会を突破し、あるいは県単出場種目により実際に本大会に出場した人数は約50～70名。
- ・本大会に出場するふるさと選手が多い時には、天皇杯順位も向上しており、大会においてふるさと選手が大きな戦力となっていると考えられる。

③ふるさと選手の競技別活用状況（第78回国民スポーツ大会）

No.	競技名	人数	内訳		獲得得点	備考
			男子	女子		
1	スキー	3人	3人			
2	スケート	1人	1人			
3	アイスホッケー	3人	3人			
4	陸上競技	8人	5人	3人	2点	他 9位（成女ハンマー投）
5	水泳（競泳）	1人	1人			
6	テニス	2人	2人		12点	
7	ローイング	6人	3人	2人		
8	ホッケー	20人	7人	13人	40点	
9	バレーボール（6人制）	7人	5人	2人		ブロック大会突破（成男）
10	体操（競技）	3人	2人	1人		
11	バスケットボール	13人	7人	6人		
12	レスリング	5人	2人	3人	13.5点	
13	ウエイトリフティング	3人	3人			
14	ハンドボール	18人	10人	8人		
15	自転車	3人	3人			本大会14位（ロードレース成男）
16	ソフトテニス	17人	11人	6人		本大会ベスト16（成男）
17	卓球	19人	10人	9人		本大会ベスト16（成女）
18	馬術	1人	1人			本大会1日目8位（成男）
19	フェンシング	11人	8人	3人		
20	柔道	12人	9人	2人		本大会ベスト16（成男） ブロック大会突破（女子）
21	ソフトボール	5人	3人	2人		
22	バドミントン	1人	1人			
23	ライフル射撃	3人	2人	1人		
24	ラグビーフットボール	4人		4人		
25	スポーツクライミング	1人	1人			
26	カヌー（SP）	11人	8人	3人		
	カヌー（SL・WW）	1人	1人			
27	空手道	3人	2人	1人	2.5点	
28	なぎなた	3人		3人		
29	ゴルフ	2人	2人			
30	トライアスロン	4人	3人	1人		本大会13位（成女）
計		194人	118人	76人	70点	

6. 成果

- ・ 総合順位、総合得点の上昇（46 位 ⇒ 41 位 630.5 点 ⇒ 740 点）
充実期目標（20 位台、1000 点）に向けては、更なる強化が必要
- ・ 入賞種目数の増加（27 種目 ⇒ 36 種目）
- ・ 安定して入賞している競技の上位入賞（カヌー、ホッケー、ラグビーフットボール、陸上競技、レスリング）
- ・ 女性選手の活躍（入賞 8 種目 ⇒ 18 種目、競技得点 47.5 点 ⇒ 130 点）
- ・ 入賞まであと一歩の競技が増加（7 競技 ⇒ 15 競技）、特に成年種別で増加
- ・ ふるさと選手の増加（183 人 ⇒ 194 人）
- ・ 取組成果の現れ
 - ・ テニス 7 年ぶり入賞（成年男子では初）
【取組】・ 全国上位成績の大学生をふるさと選手として確保
 - ・ 自転車 12 年ぶり入賞（成年女子では初）
【取組】・ ジュニアからの継続した選手育成
 - ・ 競技に関心を持った大学生（陸上競技経験者）を競技転向により成年女子選手として確保し、入賞レベルに育成
 - ・ バレーボール 成年男子がブロック大会 1 位突破（くにびき国体以来の本大会出場）
【取組】・ 成年男子のクラブチーム（バシレイア島根）を立ち上げ強化
 - ・ 能力の高い大学生・社会人選手がふるさと選手と参加
 - ・ 馬術 31 年ぶりの入賞まであと一歩
【取組】・ 鳥取のクラブで活動する高校生を少年選手として確保
 - ・ 県外在住の競技力の高い本県出身選手をふるさと選手として確保

7. 課題・対応方針

1	課題	入賞競技、種目の上積み
	課題の詳細	本県の入賞は10～15競技、24～36種目と少ない。 過去10大会で入賞実績がない競技が21競技あり、入賞競技数や種目数を伸ばすためには、どのように強化を進めていくのか。
	対応方針	・入賞を果たしている競技の安定した上位入賞 ・入賞まであと少しの競技、種別の強化 ・個人競技の強化(選手の確保強化)

2	課題	成年種別の競技力の向上
	課題の詳細	本県の競技得点の割合は「成年3：少年7」で少年種別が大部分を占めていることから、今後、競技得点を伸ばすには、成年種別の強化を進めていく必要がある。
	対応方針	・成年選手の確保強化(就職支援によるUターン・Iターン)、核となる選手の確保 ・ふるさと選手の確保強化

3	課題	優勝を狙える競技・種目の育成
	課題の詳細	佐賀国スポにおける優勝競技種目はカヌー競技(5種目)のみであった。鳥取県では6競技(8種目)での優勝があり、競技得点獲得に大きく貢献した。優勝を狙える選手やチームが出場し確実な競技得点獲得を図る必要がある。
	対応方針	・全国や世界で活躍する選手の国スポ出場 ・有望中学生の県外流出防止、有望少年選手が不足する競技の県外確保

4	課題	少年種別の一層の強化
	課題の詳細	本県の競技力を担う少年種別の強化は成績に直結する。また将来の成年種別の戦力となるため少年の強化は継続して行う必要がある。
	対応方針	・有望中学生の県外流出防止、有望少年選手が不足する競技の県外確保 ・成年選手との合同練習、成年選手からの指導による少年選手の強化 ・発掘、育成したジュニア選手の育成継続、有望ジュニア選手の強化

5	課題	団体競技の入賞数の増加
	課題の詳細	競技得点の高い団体競技の強化を図ることで、効率的に競技得点の上乗せを図る必要がある。
	対応方針	・国スポ強化指定校における重点的な強化(少年種別) ・国スポ選抜チームの活動強化(少年種別、成年種別)

8. 今後の取組

(1) 小・中学生

本部・競団) アスリートキッズの育成

本部) 中学校での競技継続 (クラブ創立・運営支援、かみありアスリート Jr 制度創設)、有望な中学生選手を中心とした支援 (検討中)

競団) 競技体験会、スポーツ教室等による選手の発掘・育成

競団) 中学校での競技継続 (クラブ創立・運営、かみありアスリート Jr 制度等を活用した競技継続の働きかけ)

(2) 高校生の強化

本部) 中心指導者の確保 (体操など)

本部) 国スポ選手強化費の拡充

入賞を果たしている競技、強化により入賞が期待できる競技、目標達成に向けた有効な取組へ配分強化 (ヒアリング等を通じて確認) ※成年も同様

競団) 有望中学生の確保 (県外流出防止、有望選手が不足する競技の県外確保)

(3) 大学生、社会人の強化

本部) ふるさと選手の関係維持 (しまねかみありアスリート LINE 登録、知事メッセージなど)

競団) ふるさと選手の確保強化 (選手との関係維持、トップレベル選手が出場できるよう所属チームへ要請)

本部) 県内就職支援の強化 (アスリート・ジョブサポートしまね協力企業の開拓、アスリートの競技活動 (練習時間、大会参加等) に対応できる企業とのマッチング)

競団) 県内就職支援の強化 (大学生への働き掛け、島根で働きながら競技継続を希望する県外出身アスリートの開拓 (特に県出身者に有望選手がいない競技))

(4) 医・科学サポートの充実

本部) スポーツメディカルセンター・女性アスリート外来 (いずれも島根大学医学部附属病院) との連携

本部) 島根大学人間科学部と連携したトレーニング指導の実施

本部) 医科学サポート体制・女性アスリートサポートの充実



競技団体と対策本部が協力し、上記取組を実施

【競技団体】

- ・ R7 目標設定（佐賀国スポの結果等を踏まえた適切な到達目標）
- ・ R7 強化策の計画策定、実施

【対策本部】

- ・ カウンターパートが競技団体と共に競技力向上や課題解決に取り組む
- ・ 必要に応じて支援事業の検討、見直し



充実期の目標達成を目指す（20 位台、1000 点）

- ・ 23 競技（+11 競技）、75 種目（+39 種目）程度で入賞
- ・ ブロック大会突破できていない競技でブロック突破

【充実期の取組方針】（R6.4.17 高校指定校指導者・競技団体連絡会議）

本部職員の伴走支援のもと、競技団体とともに目標設定し取組を推進

- ・ 各年度の目標達成状況等により、競技・種別の強化費配分を強化
- ・ 充実期の目標達成状況等を踏まえ、躍進期は、2030 年に入賞が狙える競技・種別に強化費を重点配分